

評価担当者	課名	氏名	内線
	子ども子育て課	甲斐まゆみ	2500

コード	I-2-4	施策名	安心して産み育てるための支援
施策の方針	子育てしやすい環境を整える		
まちづくりの方針	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		
施策の目的	少子化が進む中、安心して結婚・妊娠・出産・育児ができる支援体制の強化を図ります。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活支援や不妊症の助成など子どもを生むまでの支援を行います。 ・妊婦や乳幼児期の健康診査の充実、心身の発達に応じた食事や運動の生活指導、歯の健康づくり等を推進します。 ・幼保小中高の学校教育や家庭教育の中で健康教室や性教育の実施。 ・子ども医療費や保育・教育費の経済的支援と、子育て世代が働きやすい職場環境の構築について企業理解を図ります。 ・学校教育との連携し、朝食欠食者数の減少を図ります。 		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移					H31目標値 上段：当初 下段：現在	
			単位	H26	H27	H28	H29		H30
○	婚活支援事業で結婚した人の累計	婚活支援事業で結婚したカップル数(累計)	目標	組	5	5	5	10	20
			実績		1.00	0	2	2	
			達成率	%	-		40.0%	40.0%	
	この地域で子育てしたいと思う親の割合	4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診の問診の平均値による地域で子育てしたいと思う親の割合	目標	%	70	90	95	95	90.0
			実績		90.0	94	96		95.0
			達成率	%	128.6%	104.4%	100.8%		
	妊娠期からの切れ目のない支援体制の推進	子育て支援コーディネーターの支援対象者の割合	目標	%	20	20	20	20	80.0
			実績		20	20	15	36	30.0
			達成率	%	-	100.0%	75.0%	180.0%	
	3歳6か月児健診の受診率	定期的な医療機関受診率を除く健診受診者	目標	%	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0
			実績		87.5	89.5	91.8	90.8	
			達成率	%	-	95.2%	97.7%	96.6%	
	学童の朝食欠食率の減少	学童の朝食欠食率	目標	%	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
			実績		7.2	9.4	7.5	4.6	
			達成率	%	-	53.2%	66.7%	108.7%	
○	不妊治療の補助件数	費用助成を行った件数(H30年度～は不妊検査補助件数も含む)	目標	件	42	42	42	42	42.0
			実績		11	15	42	16	
			達成率	%	-	35.7%	100.0%	38.1%	
			目標						
			実績						
			達成率	%					

指標の分析	本市で子育てしたいと思う親の割合が増え、ちあぼーとでの子育て支援コーディネーターの情報提供や拠点活動、保育所の待機児童なしという環境の整備が保護者に安心感を与えています。また学童の朝食欠食率も減少しています。乳幼児の集団健診率は、9割がちあぼーとでの集団検診、1割が小児科での乳児健診となっており、未受診者はほとんどいません。しかし、婚活支援事業は仕組みや方法に工夫が必要であり、また、不妊治療は高額でありデリケートな部分もあり、助成制度のより丁寧な情報提供や相談支援が必要です。
-------	--

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(H29調査)	維持領域	2.48	1.64
市民意識調査結果分析	<p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とともに高く、「維持領域」に位置しており、取り組みの維持・継続が望まれています。</p> <p>・平成29年度のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とともに28年度より高くなっています。満足度が0.07%上がっておりちあぼーとの周知が進んでいると思われます。具体的には各種助成制度による家庭の経済的負担の軽減や健診等を通じた子どもの発育発達相談体制の充実が考えられます。今後もさらなる子育て支援施策の充実を推進し、満足度のアップを目指します。</p>		

満足度

2.05

1.90

1.75

1.60

1.45

1.30

1.15

1.85 2.00 2.15 2.30 2.45 2.60 2.75

必要度

<次年度以降の課題>

平成30年度以降の課題	本市では平成29年度より妊娠届時に全員が保健師による面談を行い、安心して出産を迎えられるよう様々な支援体制を整えています。また平成30年度より不妊治療をする前段階の検査への助成やファミリーサポートセンター事業の開始、ロタウイルスの予防接種全額補助、市の周辺地域の保護者支援で市外の病児保育を利用した場合の助成等さまざまな支援を拡大するよう計画しています。子育て環境は整ってきていますが、切れ目のない支援について子育て世代だけでなく企業訪問するなど幅広い情報提供・情報発信を行い、出生数の増加や移住定住につなげる必要があります。
-------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				H28年度実績	H29年度実績	H30年度見込み			
1 利用者支援事業	子育て支援コーディネーターを配置。妊娠期からの切れ目のない支援をコーディネートします。	子ども子育て課		4,678	5,502	6,231	重点継続		I-2-5
2 子ども医療費助成事業	子どもの医療費を助成することにより、疾病の早期発見と治療を促進することを目的としています。	子ども子育て課	○	111,555	110,199	109,019	重点継続	○	I-2-5
3 乳幼児健康診査	4か月・10か月・1歳6か月・3歳6か月健診を行います。	子ども子育て課		23,612	21,270	27,020	重点継続		I-2-5
4 母子教室関係	発育発達につまづきのある児を対象とした教室。小学生・高校生を対象に生活習慣病予防教室等を開催します。	子ども子育て課		2,432	2,025	2,493	—		I-2-5
5 乳幼児等訪問事業	生後4ヶ月を迎えるまでの児の保健師・看護師・栄養士等の全戸家庭訪問の実施をします	子ども子育て課		1,305	1,179	1,460	継続		I-2-5
6 予防接種事業	予防接種法による定期予防接種及び任意予防接種の費用助成を行っています。	子ども子育て課		78,463	77,767	84,635	継続	○	I-1-2
7 婚活支援事業	結婚を希望する独身男女を対象に各種婚活支援を行っています。	協働まちづくり推進室		2,157	1,895	3,434	継続		
8									
9									
10									
合計				224,202	219,837	234,292			

<施策の今後の展開 ～担当課長評価>

進捗状況	安心して産み育てられる子育ての支援体制は整ってきました。今後は支援体制の充実についての周知をはかっていく必要があります。また、婚活については、出会いの場となるイベントだけではなく、独身男女を対象としたスキルアップセミナーを開催するなどきめ細やかな施策の展開が必要です。	課長評価
概ね順調		重点施策であり、前期計画終了(2019年)までに強化する

<施策の今後の展開 ～内部評価(内部検討会)>

進捗状況	安心して産み育てられる子育ての支援体制は整ってきました。今後は支援体制の充実についての周知をはかっていく必要があります。また、婚活については、出会いの場となるイベントだけではなく、独身男女を対象としたスキルアップセミナーを開催するなどきめ細やかな施策の展開が必要です。	内部評価
概ね順調		重点施策であり、前期計画終了(2019年)までに強化する

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
婚活は人口増に繋がっていくのでイベントのPR等をしていくことが大切。妊娠期からの支援については、さまざまな機関と連携して支援を「強化」していただきたい。	強化

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

臼杵市の子育て支援は、妊娠期から切れ目のない支援施策を充実させ評価が高いものがありますが、更なる充実を求めるニーズも高く期待されていますので、関係機関との連携をより一層図り、安心して子育てできる支援体制を強化していきます。婚活については、市報やホームページ、SNSでの情報発信だけでなく市外からの参加者が少ないため、テレビなどメディア関係を利用する必要があります。